

みずほCustomer Desk Report 2017/03/27号(As of 2017/03/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.39 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.00	1.0784	119.67	0.9933	1.2510	0.7635
SYD-NY High	111.48	1.0818	120.24	0.9959	1.2523	0.7640
SYD-NY Low	110.63	1.0760	119.53	0.9890	1.2470	0.7604
NY 5:00 PM	111.38	1.0798	120.24	0.9915	1.2471	0.7625
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.26/10.01		25RR	1.628	Yen Call Over	
NY DOW	20,596.72	▲ 59.86	債券市場			
NASDAQ	5,828.74	11.05	日本2年債	-0.2590	0.9bp	
S&P	2,343.98	▲ 1.98	日本10年債	0.0650	0.8bp	
日経平均	19,262.53	177.22	米国2年債	1.2566	0.5bp	
TOPIX	1,543.92	13.51	米国5年債	1.9450	▲0.7bp	
シカゴ日経先物	19,155	185.00	米国10年債	2.4123	▲0.7bp	
ロンドンFT	7,336.82	▲3.89	独10年債	0.4030	▲2.8bp	
DAX	12,064.27	24.59	英10年債	1.1960	▲3.3bp	
ハンセン指数	24,358.27	30.57	豪10年債	2.7500	▲0.4bp	
上海総合	3,269.45	20.90	為替市況	USD/CNH	6.8729	0.0029
USDJPY 3M Vol	9.84	▲0.31%		ドルインデックス	99.63	▲0.13
USDJPY 6M Vol	9.77	▲0.18%	商品市況	CRB指数	183.465	▲0.18
EURJPY 3M Vol	11.96	▲0.27%		NY金	1,251.70	1.60
EURJPY 6M Vol	11.28	▲0.11%		WTI	47.97	0.27
				Dubai Spot	49.21	▲0.07

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
3月24日	8:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	
	8:50	日	対内・対外証券投資	-	
	17:30	独	マーケット製造業/サービス業/総合PMI	3月 58.3/55.6/57.0	56.5/54.5/56.0
	18:00	欧	マーケット製造業/サービス業/総合PMI	3月 56.2/56.5/56.7	55.3/55.3/55.8
	21:00	米	エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	
	21:30	米	耐久財受注/除く輸送用機器・速報値(前月比)	2月 1.7%/0.4%	1.4%/0.6%
	22:05	米	ブラード・セントルイス連銀総裁講演	-	
	22:45	米	マーケット製造業/サービス業/総合PMI	3月 53.4/52.9/53.2	54.8/54.0/-
	23:00	米	ダドリー・NY連銀総裁講演	-	
	3月25日	2:30	米	ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-

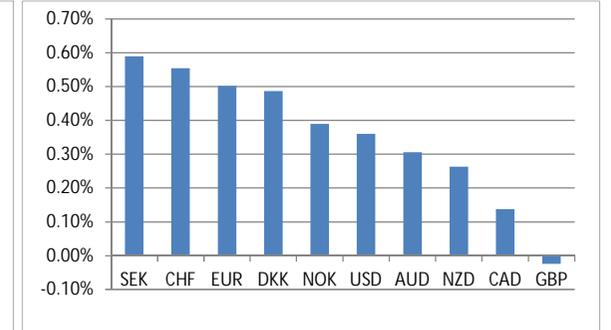
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月27日	8:50	日	日銀金融政策決定会合における主な意見	-
	17:00	独	IFO景況感/期待/現況指数	3月 111.1/104.3/118.3
3月28日	2:15	米	エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-
	7:30	米	カプラン・ダラス連銀総裁講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は111.00レベルでオープン。日経平均株価が前日比マイナスで寄り付いたこと等から一時110.86まで下落するも、この日は実質的なゴトに当たるともあり仲値にかけては実需勢によるドル買い期待等から111.40台まで上昇。その後、黒田日銀総裁の「現時点で金融緩和度合いを緩める理由はない」との発言が報じられたが相場の反応は限定的となった。111円台前半までの方向感に乏しい推移が続いた後、引けにかけて小幅に上昇し111.46レベルで海外時間へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場は全般的に動向薄。ドル円は111.46レベルでオープン。米長期金利の下落につられ110.95まで緩む場面が見られたがその後は米下院本会議でのオバマケア代替案の採決を控えて111円を挟んでの様子見となった。110.97レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは小幅推移。1.2476レベルでオープン。英銀行の住宅ローン承認件数2月は前年同月比で 4.6%と3カ月ぶり低水準となったが、市場への影響は限定的となった。1.24台後半での小動きに終始し1.2483レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン7:00-05:31 444 179 西海)
ニューヨーク	海外時間のドル円は高値111.48まで上昇するが111.50付近ではドル売り意欲も強く、110.97まで反落しNYオープン。朝方発表された米2月耐久財受注(前月比)が予想を上回ったことや、タリが小高く寄り付いたことからドル円は111.28まで上昇。その後はオバマケア代替案採決関連でさまざまなヘッドラインが飛び交う中、様子見ムード。午後に入り共和党リーダーの「可決に必要な票を得られる自信がない」との発言を受け、否決の可能性が高まると110.77まで下落。この水準では一時下げ止まったが、その後「トランプ大統領要請でオバマケア代替案の採決を断念した」との報道を受けて、ドル円は安値110.63まで下落。しかし、前日安値の110.64が意識されたことや、トランプ大統領の「今回は税制改革に専念する」との発言を受け、市場ではオバマケア法案が撤回されたことで、減税やインフラ投資の案件に移行できるの思惑もありドル円は111.30付近まで急反発した後、111.38レベルでクロスした。なお、ライオン下院議長の記者会見では「2017年度の予算に含まれるオバマケア改革は断念するが、これが終わりという意味ではない」との見解が示された。一方ユーロドルは、ロンドン時間に発表された仏3月マーケット製造業PMI、独3月マーケット製造業PMIが市場予想を上回ったこと等から1.07台後半から1.0807まで上昇しNYオープン。しかし、本議会議決に注目が集まる中、ユーロドルは1.0800を挟んでの70-主導の推移が続き、1.0798レベルでクロスした。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.00	1.0800-1.0910	119.30-120.30

【マーケットインプレッション】

先週末の海外市場ドル円相場は続落。東京時間はオバマケアの代替案の採決を控えて様子見姿勢が強まり111円台前半を中心に小動きとなったが、海外時間に入ると序々に上値を切り下げ110円台へ突入。その後、発表された米耐久財受注統計が市場予想を上回る好調内容となった事で111円台を回復するも、下院本会議でのオバマケア見直し法案の採決待ちとなる中、警戒感から再び下落。下院が採決を予定していると報じられるとドル売りに拍車がかかり110円台半ばまで下落するも、トランプ大統領が同法案の撤回を要請したと伝えられると今度はドル買いから再度111円台へ上昇した。本日のドル円相場は、引き続き上値の重い展開を予想する。トランプ米大統領の政策運営に対する不透明感から過明けもドル売り先行の地合いとなりそうだ。株安を嫌気したりリスク回避の動きには注意が必要だ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。